京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らす

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

特別廣告

京城居留民團民會議員
西部候補者（イロハ順）

池田長次郎君
大村保太君
海津三雄君
高橋章之助君
曾我勉君
中島司馬之助君
松浦源治君
深水清君
榊原長緒君
三好和三郎君

也
右推薦候
明治四十四年一月
西部有權者
選擧事務所

木材購入公告
一第一號一二十一廉
一第二號一二十六廉
右購買ス入札望ノ者ハ本月十七日ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルベシ
仁川
朝鮮總督府航路標識管理所

●朝鮮漁業の成績

昨年度に於ける朝鮮海一般の漁業成績に付き當局者の語る處を聞くに西海岸の石首魚南海岸の鯖 東海岸の鰊漁業は近年になき好成績を表はしたる由にて之に次ぐ者は江原道及鎭海灣の鰯漁業尚南道の鯛釣り西海岸 鮟鱇網漁業等にて西海岸の石首魚江原道の鰯漁業は主として鮮人の經營にて成り豐漁の結果は彼等の生計を助けたること多く東海岸の鰊及南海岸の鯖さ鯛西海岸の鮟鱇網漁は內地漁業者に利益を與へたるものなるが其他は概ね平年漁にて獨り東拓會社の經營せる平安南北道の鮟鱇網漁業は近年稀なる不漁なりしを以て之れに關係せる漁業家及從業者は爲めに損害を蒙りたること著しきを憾とすと云へり、而して豐漁の結果に基く詳細の統計は未だ知り得べからざるも概算すれば全國を通じ約百五十万圓の增收と見れば大差なき由にて例年は日鮮人の漁業を合せ七百萬圓內外なりしも昨年は漁收合計八九百萬圓なりしと云ふ

●會議所聯合大會

來る四月下旬京城に開催の筈なる全國商業會議所大會の事は屢々報道したる處なるが全國六十餘ケ所の會議所中既に熱心なる贊意を表し來れるは十六日まで四十餘ケ所なるが其の會議所名を示せば左の如し

東京、京都、大阪、神戶、長崎、函館、新潟、名古屋、廣島、川越、宇都宮、小樽、津、四日市、仙臺、直江津、富山、栃木、伏見、濱松、水戶、岡山、山形、德島、下の關、久留米、鹿兒島、高知、福井、長岡、敦賀、甲府、高松
朝鮮各會議所全部

●三南線工事

三南線鐵道敷設工事の現狀を聞くに現下結氷季節なるに拘らず毎日三四千の朝鮮人夫を使役して工事を急ぎつゝあり既に大田を距る六哩懷德郡柳等里嘉水院第一停車場豫定地迄竣成したり尤も中間五哩半ノ箇所に岩石あり目下切取中なるも本月末までに大田嘉水院間は開通し建築列車を運轉するに至る可し斯くて第一測量隊は十日竹內技手が內地人工夫二十四名を隨へて群山江南測量の爲め大田を發し第二測量隊は松本技手工夫二十五名を隨へ十二日同地出發江景以南測量の爲め何れも出張せり又た用地隊は二十三四日頃までに六七區視察の途に就く筈なり

●全北の觀光團

全羅北道に於ては道長官李斗璜氏道內二十八郡の郡守に示令し極力新政の方針普及に努めつゝあるが最近の報告に依れば人民は昨今相和して新政を悅ぶに至り春暖の候を期して觀光團を組織して內地觀光をなさんと今より計畫し居れりと

●滿韓鹽業新生面

滿韓鹽業會社は悲境を重ね居れるが今回神戶の鈴木商店一派は過半數以上の同社株を買收して唯一の大株主となり本月下旬の總會に於て重役の顚振れを一新すると同時に營業方針も新面目を施すものあるべし

●連絡船室改善

鐵道院にては關釜連絡乘船の三等旅客に限り普通船室の外雜居を設ける事となりたるが同室は疊の上に絨氈を敷き食堂の會食又は腰掛を好まざる婦人小兒等の座し乍ら食事を濟し僅々十時間の航海中氣樂に休息する便あり近來此室を希望する乘客非常に多き由なるが遠隔の各驛より直通切符にて乘船する旅客は豫め乘船日時を指定し適當の船室を用意せしめ乘船に際し混雜を避くる事を得可しと云ふ

山中鹿之助

第六十回 西尾麟慶演

沖に見へる海賊船へ漕ぎ寄せましたる鹿之助の船、大音を揚げて山中幸盛、鹿「コレ待て、凡そ天下に住む者禁廷へ御奉公致すは人たる者の常なり、然るに汝等其禁廷へ治むる官物を奪ひ、巳れの榮華を爲す無法無殘の海賊ども、今や天罰報ひ來つたり、覺悟を爲せ」と云ひながら、鹿之助を始めとしてヒラリ〱と賊船へ乘りうつりましたる人々、此方は之を見て船中大ひに騷ぎ立つ ○「夫れ打手向つた、中々强さうな奴だ早く逃げろ」と云つた處で周圍は海 ○「此奴は困つたな、—イ脫裏は無きか……」何に船に脫裏があるものか、此時に橫道兵庫之助 吾れ元より海賊にはあらざれど暫く此の業を爲したれば最早脫る道なし、某し一人快く繩にかゝり申さん、何卒大谷殿は姫君を守護して山中鹿之助殿へ御手渡し下さるべし」と申聞けズッと夫へ進んで 兵「如何に方々、某は海賊の張本荒浪金藤太なり、夫へ參つて縛めを受くべし、其他同船の者は盜賊にあらず、播州路まで參る人々である、何卒、某一人召捕られて他の人々は宥したまへ」と申しまして夫へ進み來る顏を眺めて山中鹿之助 鹿「オー汝は橫道兵庫之助ならずや 兵「偖は御主人にてわするか 鹿「偖て〱汝は如何なる心底にて海賊と相成り居るぞ 兵「御不審御尤も、某し一人海賊になりしにはあらず、殿に御覽に入れる者が御座ります、如何に各々是へ參られよ」と下知に從ひ、ゾロ〱是へ上つて參りましたが、大谷古猪之助、九重姫、浮舟に櫃杯で御座います、鹿之助も驚いた、何故此の人たちが海賊船に乘つて居たか 鹿「定めし仔細ぞあらん其理由語れ」と詰寄りました、此時橫道兵庫之助が軍用金を調へん爲め、先に荒浪金藤太を殺して、其身海賊の張本となり、其後丹波の大江山に居り山賊の頭虎丸の爲に、誘拐されし九重姫を助け出した古猪之助に逢ふた事、又其後虎丸を殺せし事等とれもなく物語りました、之を聞き一度は驚き一度は喜び鹿之助は直ちに此の船を播州明石に着け、夫より一同打揃て上月の城に參りました、義久公に委細言上に及びましたら、九重姫久々にて姉君に會ましたる懷さ、義久公は人々の義心に感じ海賊とまでなつて軍用金を集めしは、天晴忠臣と橫道兵庫之助を重く用へると云ふ事になる、勿論兵庫之助計りでは御座りません、大谷古猪之助も天晴忠臣で御座ひます、處が大谷に橫道が義久公の家來になるのは望みでない、山中鹿之助の家來になりたいと云ふ、ソコデ表面は義久の家來であるが、改めて山中鹿之助の手に附けました、其後鹿之助と九重姫は公然婚姻の式を行ふ、兵庫之助には浮舟を妻と致しました、誠に芽出度事で御座ひましたが、何うも世の中は旨く參りませんもので、永祿三年十二月廿四日、雲伯隱因石作藝三備の大守尼子晴久が病死致しました其後式部少輔義久が跡目相續して、前申上げた播州上月の城に居る、父の晴久、存生のころは、雲州富田の城に、居りました、然かるに此處は、毛利元就の爲に一度び取られましたを間もなく山中鹿之助の働きで之を取返し、義久は妻の八重姫並に倅勝丸と共に是へ引移りました、山中鹿之助は上月の城代として播州に止る、スルと先代尼子晴久の世に武勇絶倫と稱せられたる、尼子下野守と云ふ者が御座ひました、是は尼子の一門で家老を勤めて居りました、其者病死致して後、其子九郎左衞門が父の跡目を相續致した、處が親の心に似もやらず、恐しい慾張りで人格が下劣で御座ひます、之を知つて居りますから、尼子義久の代になつても重く用いません、山中鹿之助のみ御用いになる、夫を九郎左衞門が見て何となく不平で御座ひます、彼奴は何んだ新參ではないか、俺は當尼子には譜代と云ひ殊に一門だ、然るに新參の鹿之助を用いて縁類たる俺を用いぬとは餘りと申せば主人が判らぬ、君臣を見る事塵芥の如くんば、臣君を見る事讐敵の如しとやら、折あらばと密に山中鹿之助の樣子を窺つて居りました。

廣告

購買廣告
一獨逸ザラ紙四六判 外一點
一看守帽 外十五點
右購買ヲ競爭入札ニ付ス詳細ハ一月十六日朝鮮總督府官報ヲ見ルベシ
朝鮮總督府

瓦斯コークス販賣
京城黃金町高等演藝館隣
酒井組
電話一二四九番

質
京城太平町二丁目三番元黑澤邸跡
確實の擔保低利貸金融通す並古着賣買
宮永金藏
京城支店

質屋開業
土藏落成 確實懇切
賴りたる額は郵便電話にて內容御報次第御相談に參上可仕候
櫻井町通り五二
戶部質店（電話九八五番）

質
京城旭町一丁目度支部官舍向
壚見質店
旭町二丁目自府廳裏路曲

美術實用品各種
肥 セトモノ
各製產地新荷着
京城本町二丁目 陶榮商店
電話百十三番 振替口座韓國三二番
官製煙草元賣捌所

三菱石炭

◉鯰田塊炭の特色
（火力强く火持ち良く「ストーブ」風呂焚用として最適用品）
●極めて光澤あり火付き良く粘り氣弱く如何なる粉炭にても燃燒中に塊り之を碎けば全部灰粉となり少しも灰塊を殘さず

◉金田塊炭の特色
（價格頗る廉なれ共割合に品質良く「ストーブ」風呂焚用に至極適用品）
●一見鯰田炭に酷似し光澤あり粘り氣少く燃燒中塊ることなし尤も火持ちは鯰田炭と大差なきも少しく灰塊を殘す
●金田炭は從來三井物產株式會社に於て一手販賣致居候處過般三菱合資會社にて該炭礦買收の結果弊商會に於て一手販賣引受け申候

◉高島コークス
（品質優等にして火力極めて强く鍛冶工場用に最適品併煖廚「ストーブ」用に適す）
●御小賣、俵賣等何れも迅速に御屆け申上候
●京城龍山には特約販賣店も有之候間弊商會同樣御引立願上候

三菱合資會社石炭朝鮮一手販賣
合名會社大倉組保險部
大同生命保險株式會社
土佐セメント株式會社
代理店 泉商會
京城長谷川町一丁目（電話三九〇番）
網戶得哉

登錄商標
最上醬油
山十印
千葉縣銚子町
釀造元 岩崎重次郎
京城本町壹丁目
發賣元 三巳商會
電話七五三番

東京電報(十七日發)

▲東伏見宮隨員 東伏見宮同妃兩殿下御渡英の隨員は二月下旬發表さるべし

▲宮內省消毒所 宮內省に於ては傳染病發生地を通過したるもの及遠隔の地より調進する物品並に郵便物の消毒を爲す爲め完全なる消毒所を新設する事に決定したり

▲六十三號繼續案 法律第六十三號臺灣總督府律令は本年度を以て期限滿了するに依り政府は之が繼續案を今期議會に提出すべし

▲貴族の家政整理 朝鮮貴族の家政整理案成れり

▲岡部法相の伏奏 岡部法相は本日參內 天皇陛下に拜謁仰せ付けられ無政府主義者の判決に關し具に伏奏する所ありたり

▲艦長の交迭 十六日午後海軍省に於て各艦長の交迭を發表したるが右の內英國戴冠式に差遣さるべき利根、鞍馬の兩艦長も任命されたり

▲長谷川大軍醫監危篤 陸軍々醫監正五位勳三等功四級長谷川春朗危篤の報天聽に達し本日從四位に敍せらる

▲排日案反對決議 シヤートル商業倶樂部は排日案反對の決議をなせり

雜録

●昌德大將宮 李王殿下以下各皇族は併合の今日に於ても依然韓國陸軍將官の制服を着せられ居たるが斯くては公式上面白からずとて今回改めて我が陸軍將官に任命あらせらる事となりたる由にて遠からず左の如く任命發表さるべしと

陸軍大將 昌德宮李王殿下
陸軍中將 李熹公殿下
陸軍中將 李埈公殿下
陸軍中尉 王世子李垠殿下
陸軍少將 李埈鎔

●李王職官吏 李王職官吏は其筋にて選定中なるが既に審議確定し二月一日付を以て今月下旬夫れ夫れ辭令を交附せらるる由にて長官以下重なる官吏は左の如しと

長官(勅任一等) 閔丙奭
次官(勅任一等) 小宮三保松
勅任贊侍 尹德榮
同 金春熙
同 高羲敬
奏任贊侍 李圭元
同 李聖默
同 李容汶
同 李龍漢
同 玄百運
同 李弼均
同 李丙孝
同 朴毅用
事務官 津輕英麿
同 多田英桓
同 林文太郎
事務官 絲川新
同 村上龍松
同 權藤四郎介
同 増田英信
同 末松熊彦
同 黑崎美智雄
同 佐伯達
同 高羲誠
同 李恒才
同 李源濟
同 金相觀
同 李會光
同 金東完
同 尹世鏞
典祀 金益世
典醫 鈴木謙之助
同 安商浩
技師 金倫求

●定例長官會議 十七日午前十一時より總督府に於て定例長官會議を開催し出席者は山縣政務總監、小松、石塚、倉富、明石、池田、大庭、木內、小原、鈴木の各長官局長等なりし

●總務部改稱說 總督府總務部長官は各部長官と同樣政務總監の總攬下に執務すべき筈なるも其名稱上各部を總攬するやの嫌ひあり近々名稱を變更せらるべしと云ふ

●總監部主任會議 警務總監部にては庶務規定を制定する爲めに十六日より各課の課長主任會議を開きつゝありと云ふ

●明石總長の訓諭 北滿州のペスト漸次南下し南滿各地方の沿線を襲ひ流行の兆候を呈したるを以て警務總監部は曩に朝鮮に於て同地と交通關係を有する新義州、鎭南浦、仁川等に防疫實施の必要を認め新義州に於ては去る十四日より汽車の檢疫を開始し同時に新義州、鎭南浦、仁川の三ケ所に於て鼠族の買上を實施することゝせり鎭南浦は目下結氷の爲め船舶の交通杜絶し居るを以て同地は後日に讓り仁川及新義州に着手せり而して仁川には宮尾軍醫及警部を新義州には高橋軍醫正及警部を派し目下盛んに防疫事務を勵行せしめつゝあるが尙は明石總長にはペスト豫防に關し各道警務部長京城府尹並に各警察署長に對し左の如き訓諭を發したり

一、鴨綠江沿岸及黃海の沿岸支那ジヤンクの寄港地其の他必要と認むる場所に於ては可成各戶に捕鼠器を備付せしめ又は其他の方法により一層鼠族の驅除を勵行する事

二、以上の場所に於ては有毒地を經由し新に渡來するか又は其疑ある支那人に注意到着後十日間は其健康狀態を視察する事

三、急性病死者中腦膜炎、毛細氣管支炎、肺炎、肋膜炎、脚氣衝心、心臟麻痺、敗血症、膿毒症、筋肉炎、丹毒、腦出血等には特に注意し其場合によりては警察醫を派遣し取調べをなす事

四、面長洞長に命じ其の管內に於ける急性病死者を屆出しむる事

五、汽車沿線各驛に派出したる巡査をして有病者に注意せしめ尙は有毒地を經由又は其の疑ある支那人に對しては第二號の視察を爲し管內を通過するものは其行先地を取調べ關係警察署又は駐在所に通報する事

●鷄冠山のペスト 十六日奉天發安東縣行の滊車にて疑似ペスト患者一名發生し同列車の鷄冠山驛に着したるとき死亡したるを以て同驛に於ては十六日より直ちに檢疫を開始せり尙ほ防疫設備の爲め目下新義州へ出張中の高橋三等軍醫正は昨日直ちに鷄冠山へ出張したり

●技術官會議(第六日目) 農商工部開催技術官會議第六日も例により菊地殖產課長中村農務課長本多場長以下技術官三十餘名列席各技術官側より提出の協議問題に付討議し午後四時議事全く終了閉會したり

●實業學校長會議 既報の如く實業學校長會議は明十八日午前十時より內部長官室に於て開會の筈なるが午前は山縣政務總監の訓示午後は農商工部提出の諮問事項に付協議すべしと云ふ

●銀行監督事務統一 從來當局者の銀行監督に關する事務は日本側、韓國側との二途たりしを以て往往不便の點ありたるも併合後の今日に於ては最早其區別をなすの必要なきを以て當局者にては之れが統一策に付考究中の由にて不日成案として發表せらるゝならんと云ふ

●貨幣發行高週報 一月八日より同十四日に至る發行高左の如し

銀行券總發行平均高 一九、五五九、一五七
內正貨準備發行平均高 七、〇二八、六〇七
保證準備發行平均高 三、五四一、一五〇
硬貨發行高(現一月十六日在) 八、一九三、九七五
內金貨貳拾圓 一、八五〇、〇〇〇
同 拾圓 五〇、〇〇〇
同 五圓 五〇、〇〇〇
銀貨五拾錢 一、三三六、五〇〇
同 貳拾錢 一、九六八、〇〇〇
同 拾錢 一、八九四、〇〇〇
白銅貨五錢 五七〇、七五〇
青銅貨壹錢 三四九、七五〇
同 五厘 八四、九七五

●我邦鐵道哩數 內地官設鐵道の現在哩程は東部管理局管內千三百四十四哩、中部管理局管內千五十六哩、西部管理局管內千四十二哩、九州管理局管內五百七十七哩、北海道管理局管內七百二十四哩、米子出張所管內百十八哩、合計四千八百六十一哩にして其他私設線五百六哩、朝鮮鐵道六百四十一哩(廣軌)南滿鐵道の七百十一哩(廣軌)臺灣鐵道二百七十一哩、樺太鐵道の二十五哩を加算すれば我國の鐵道哩數は總計七千十五哩に達す

●安奉線と郵便 目下安奉線經由の郵便物は奉天以北よりの內地行通常郵便物及日韓相互の郵便物交換線沿道各局取扱の內地行郵便物及び北清北滿歐洲行の朝鮮發郵便物等の各種なるが此等は十五日以後の改正時間實施と共に何れも半日乃至一日の遲速を受くる事と爲れり尙は管理局にては將來內地郵便物の一部を關釜連絡船に據り朝鮮鐵道を經由せしむるの計畫あり昨今右に付き調査中なるが多分安奉全線の廣軌開通を俟たず實施するに至るべしと云ふ

●朝鮮大豆と內地商人 大坂商船下關支店三井主任の談に據れば近來朝鮮大豆の輸入に就き大分、愛媛、中國地方の商估が同地の回漕業者と特約を結び買附を依賴せる釜山の問屋は該回漕店を荷受人とし關釜聯絡船に搭載して當地に輸送せしめ回漕店をして關稅及び運賃等を一切立替させ且同大豆を汽船にて指定の地に運送せしむる者夥しく二三年前迄は同商人等は同地に於て買附をなし又は右の如き方法を採るも同地に出張し自己に於て凡ての手續をなし居りしが客臘十一月頃より同店に於て此の便法を開始せし所依賴者簇出し爾來非常の盛況を呈し居れる由なるが這は朝鮮大豆輸入上に關し一新機軸を出したるものにて內地各地の商人が其の商業範圍を擴大して直接釜山に於て買附をなし而かも仲繼地たる當地に於て回漕店と特約をなし關稅又は積替等の煩勞を取らしめ恰も釜山より直輸入に齊しき方式を取れるものなるを以て同地に於ける朝鮮貿易業者の一大打擊たらざるを得ざるなり

●東拓移民と割引 東洋拓殖會社の第一回移民は既報の如く本月二十日より三月十日迄に渡鮮の筈なれば會社に於ては滊船及滊車賃の割引券並に移住者道順案內を發送し居れるが各鐵道滊船會社の割引率二割五分より五割迄なりと

●開城會議所の擴張 開城商業會議所には孫鳳祥氏會頭たりしも同氏は本業たる人蔘栽培事業に專心從事自然商業會議所の事務を管理する遑なきを以て今回辭任を申出でしが郡守朴宇絃氏は時勢の趨く所を察し大に會議所を擴張するの必要を唱へ開城屈指の資產家たる金鵬植氏に勸めて會頭たることを承認せしめ同時に從來の商業會議所議員の全部を改選し並に日本人の書記長を置くことゝせんため去る十四日事務所內に同地實業家の重立たる者二百餘名を招集して協議を遂げしが何れも原案通り可決し役員をも改選したりと云ふ

●工兵爆破演習 工兵第二大隊第一中隊に於ては來る二十日午後一時より四時迄步工兵作業場にて凍結土の爆破演習を爲す由

●記者團の新年宴會 京城の新聞記者團は十八日午後六時より壽町の井門樓に於て新年宴會を開くと云ふ

●金物商新年宴會 京城の金物商組合は十七日午後五時より井門樓に於て新年宴會を開く

●任善準子の誕辰宴 十七日は子爵任善準氏の誕辰日に相當するを以て正午より朴齊純子、李容植子等知己數十名を招きて祝宴を張りたり

●兒玉局長の東上 總督府會計局長兒玉秀雄氏は十八日午前九時南大門發の汽車にて家族同伴東上の筈なり

●林少佐の出張 軍司令部附林少佐は地理實査の爲め十七日黃海道方面に出張せらる

●內務部の學士會 內務部管下に就職せる學士連は十六日長官室に會合し學士會を開きたるが出席者十七名全南及忠南兩長官の演說ありて盛會なりしと

公人私人

●權藤四郎介氏 十五日歸任せり

▲能勢長五郎(全南長官) 十六日入京 天眞樓

▲宮原忠江(水原農林學校敎授) 同上 巴城館へ

▲神谷卓男(平北道事務官) 同上

▲草場林五郎(司法部刑事課長) 十八日歸任の豫定

●撰擧場の告示 京城民團議員選擧投票場に就ては龍山市民の分立要請もあれど這は法規上認容すべき事にあらざれば民團理事者に於ては既に同會場を南大門小學校一ケ所と內定したれば來る廿四日を以て會場投票開閉時間及び選擧人心得、開票に關する一切の告示を爲す筈なりと云ふ

●民團の會計檢查 京城民團に於ては十九日より四十三年度の會計檢查をなす筈なり

●新事業委員會 京城民團本年度の新事業として小學校の增築、道路改修等は其重なるものなるが民團にては昨年末より本町通り及山の手線の比較測量をなし既に大体を了したるを以て來る十九日頃委員會を開き引續き本會議を開きて付議する由なり

●稅制調查主查會 十八日午後一時より民團稅制調查主查會を開き各主查より調查方針に就き具体的の調查方針を提案すべしと云ふ

選擧界の側面觀

▲池田氏の俠氣 池田長兵衛氏は中部新進の勢力家にして氏自から陣頭に立たんか最大高點を以て當選すべしと稱せらる而して曩に松永達次郎氏と共に氏も亦候補に推薦せられしが或る事情に依り氏は引退せり然るに中部の團体は遂に松永氏をも排斥せし爲め大に憤激し猛然蹶起して松永氏の爲に一騎當千の勢威を張りたるより俄かに形勢一變昨紙所報の如く改定せり此間に處せる氏の態度は正さに贊六の汚名を雪ぎ俠漢天川儀平の槪ありしと人皆之に推服し居れり

▲境界地點交涉 競爭愈々激甚なるに伴ひ各部間に境界地點の爭議湧出すべきは前年の例に省み明かなり故に今より之が協定を爲し置かんとて西部は中部に對し「個人運動は隨意なるも團体としては豫め其地域を定め互ひに相侵かさゞる樣致度」旨交涉を開始せり而して西部は本町二丁目以西を西部とせん希望なるも若し已むを得ずんば同町は之を洞ヶ峠とし孰れに附隨するも有權者の任意とすべく協定すべしと

▲一騎連の勢力 目下一騎打として陣頭に驅馳せる候補者は既報皆川廣濟前田熊市田中始一郎三氏の外原勝一岩田仙宗の二氏あり皆川氏は始め本部に交涉ありしも折合上面白からざるを以て目下廣島縣人團及門外に於て活動し其勢侮り難し前田氏は水產市場及商業會の一部を根據として獨力四百票は既に確實なりとの評あり田中原岩田の三氏又相當の地盤勢力を有し居れるが如し其他數名の自稱候補者ありて漫然荒れ廻はるを快とせるあり是等奮鬪の奇觀は頗る見物なるべし

▲德久氏と國井氏 龍山の候補者德久氏は是非辭退すべく表明し過日有志者より勸誘の際も運動費として五十圓醵出すべければ候補の儀は切に御免を蒙りたしと答へたる由又國井氏も九步九厘辭退の色あり然れば龍山の形勢は尙は大に變化すべし

▲京城側の小康 京城側は各部とも既に決定せるが而かも仔細に之を研究すれば糊塗彌縫辛ふじて纏め得たるの感あり故に風雨一たび到らんか忽ち支離剝落を見るべしとは何人も疑はざる所なりとす則ち目下の形勢は一時の小康にして二十二日頃再燃し二十八九日頃には更に大に變化すべしと候補者自身觀測する者多し

▲西部の演說會 西部候補者は孰れも新進氣銳の人々のみにして其活動振に目覺しく二十四五日頃より適當の場所を撰み連日政談演說會を開き民團行政に關する各自の抱負意見を發表すべしと意氣込み居れり

▲各部選擧事務所 西部は既に不知火旅館に選擧事務所を設けたるが東部は有明樓に中部は本町三丁目秋吉氏貸家に定めたり

民團議員豫選投票(十七日正午迄通算計)

一九三七票 三好和三郎
一六〇一票 小林藤右衛門
一五八七票 松浦源治
一二三三票 増田三穗
一二一八票 和田常市
一二〇七票 岩田仙宗
一一一七票 前田熊市
九六〇票 田中始一郎
九二八票 山口太兵衛
八七四票 中村再造
七五六票 曾我勉
七四一票 松永達二郎
七三〇票 釘本藤次郎
七二八票 森勝次
七二〇票 池田長兵衛
六九四票 秋吉富太郎
六八六票 關繁太郎
六八三票 梶原末太郎
六八〇票 城六太
六七七票 中島司馬之助
六四八票 田村義次郎
六二五票 近藤佐五郎
六一九票 皆川廣濟
六〇三票 高橋章之助
五七五票 石井新
五六一票 大村保太
五五三票 淵上貞介
五四〇票 大橋清三郎
四三〇票 海津三雄
四一七票 池田長次郎
四一三票 佐々正之
四一一票 原勝一
四〇七票 進辰馬
四〇二票 篠古禮藏

八井上久藏、三三田政二郎、二篠崎芳藏、二柄澤正造、二明石桐一、一嶽八郎、一有吉忠一

注意

前號に發表せし得點者にて點數の其儘なるものは本日の表に加へず尙本日よりは四百點以下の得點は新候補者以外は不掲載

▲京釜兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 十六日の分
乘車客 五二四 下車客 五九四
乘車賃金 一一六〇、五六
▲南大門驛荷扱高 十六日の分
發送 五六噸 到着 六一八噸
貨物賃金 八三八、二三
▲龍山驛乘降客 十六日の分
乘車客 一五〇 下車客 一三三
乘車賃金 一六二、〇六
▲龍山驛の荷扱高 十六日の分
發送 九六噸 到着 二六一噸
貨物賃金 三〇三、五三

▲京城手形交換高▼

一月十七日 金高 一三七、七〇〇、〇四 枚數 三三八

▲仁川港の船舶出入▼

▲木浦丸 十八日大坂より入港
▲勝利丸 同 大坂へ向出港

▲治外法權▼ 過日の本欄でゴ披露に及んだ、八代海軍少將、元の大佐、而して笛の名人とあつて、笛を吹いて明石將軍に橫文名刺を書いて貰つた八代少將が過日來向カリホルニヤやパナマでヤンキー共相手に氣焰を吐いて居る▲ヤンキーの人の惡さ其娘共を八代少將招待の舞踏會へ出さぬとか、八代少將がパナマ運河の防備を非難したとか、イヤモー總てが喧嘩腰、迚もお話しにならぬ▲併し八代は我が海軍の花だ、剛り彼れは大和武士だ、總てに、總べてに忍耐して使命を果して居る、嗚呼腕を振ふや易し、而かも突つて振はざるや實に難し▲京々民會議員の選擧が近づいた、而かも一昨年若しくは其の前のごとき騷ぎはまづ無い模樣だ、三年たてば三ッになる、況はんや我同胞に於てをや▲選擧と云へば今度候補者に推された人々の顏觸を見ると新舊混淆一種云ふべからざる感が起る、ヤレ元老のヤレ勢力家のとは統監府若しくは公使館時代の事だ、今の總督府時代となつては新顏が幅を利かさねばならぬ、併し其理屈は言はぬが花だ▲今度候補者に推された新顏連の人物を見ると二三を除いてはドウか踏めサウな代物のみだ、經歷素養と云ふ點になると、十三人の中前代議士が一人、東京大學出身者が一人、高商出身者が一人ある、民會を以て內地町村會の如く見做した時代もあつたが、今は全く別だ▲此頃內地に於て透視眼や念射の流行はドウだい、如何に米が安くても、コウ國民がノンキになつては困まるね

特別廣告

京城居留民團民會議員 東部繁榮會候補者（イロハ順）

石井新君
大橋清三郎君
梶原末太郎君
田村義次郎君
釘本藤次郎君
淵上貞助君
古城梅溪君
近藤佐五郎君
木島平兵衛君
關繁太郎君

右推薦候也

明治四十四年一月 日

東部繁榮會

活動寫眞 覆面子

十七日 朝の南大門驛

冷たい風は頰を打つて來かゝる女の鬢の毛が幾筋か亂れる、クッキリ晴れた朝日が半面を照らして蒼白い**視線**はハタと衝突する、薄紅の**羞耻**は馱せる顏にも失れど讀まれて、前髮を低げめにツト**太平町**に消へた、**賣女**と思つた、寒い國、憔悴、果敢なき媚を賣る渠女も**人の兒**である、遙か、渠女を見送りつゝ

泣け泣いて心の底に黑髮の匂へる宵を父母想へ

と、一首吟し去つて**暗涙**を飮んで停車場に入つた、三々五々、人は寒げに沈み勝ちだ、手荷物扱所の棚上には、長春、北門外、藤田與三郎樣行、京城山下と大書した大箱や、朝鮮總督府度支部、**仙頭芳太郎**との、名刺のある行李や、不用品賣買岩田高四郎と横書きにした行李やが積まれてある、**巴城館**の若者は、小川樣と認めたトランクと木箱とを托送した、小川樣とは誰れあらう、國民黨所屬代議士**小川平吉**氏其の人である、氏は釜山行列車に投じて帝都に入るべく去るのである **渡邊高等法院長**も見へて、續ひて肥大の宇佐川**東拓總裁**も見へた、いゝ午前九時、此の名士を乗せた列車は靜かに南に去つて、同九時十分北向の列車も進み放れた朝日は冷々として、人去りし驛爐の火が淡い、一句浮む、汽車去りて春寒の小舖女老ゆ

●朝子の不量見

朝子と云へば太平町二丁目料理店永樂亭の酌婦にして一寸齒皮の剝けた女なるが生れは音に名高き醜業婦の盛んなる熊本縣天草郡下津浦村で岡本あさの（十九）と云ふ故郷には兩親及妹等ありて漁を業とするも他人の漁器とて收得少く兎角難儀なれば朝子が未だ肩揚げも取らぬ十四才の折り同郷人目下太平町一丁目料理店○万事佐原まさ歸鄕の際朝鮮は濫手に栗女の子でも一ケ月十圓以上の收入あれば毎月六七圓は送金せしひと當地に連れ來りしが當時朝子は無邪氣なれば淫賣を强ひられるも下女奉公の目的、付男と寢るのは嫌ですよと應せざりしが或る夜酌婦か客を取り其の身代二圓を一錢銅貨にて二百枚受取りしを見て朝子は小供心に慾心を起し夫れより客を取る事になりしが最初の内は婦氣なれし朝子も馴れては色男欲しくなりたれば此の儘○萬に永遠に居りては身の自由にならずと自ら住替への運動に着手し現永樂亭に抱へらるゝ事になり前借五圓にて住込しが同亭の客筋は當時博徒多かりし由にて一寸意氣な博徒に惚れ込み自身から遂引も數回成る時は客に強ひられし事もあるが其の博徒は退營命令に接し歸國する事になり旅金等も給與し南大門迄見送り泣きの涙に別れを爲したるが當時既に前借金七十餘圓になり鄉里への送金は厘毛も爲さゞるのみか音信さへ爲さぬ樣になりぬ夫れよりは意氣な男ぞと氣を付け居る内成る夜元南大門驛車掌現鐵道津驛助役井上某と馴る意氣にして好男子大低の女は惚れる樣な高標が登樓し朝子を敵妓に遊興せしより朝子は夢中になり井上の事なら生命でも捨るゝと云ふ位井上さんでなければ夜も日も明けぬと云ふ調子されば井上に身揚りするの事屢々なるのみならず鷺梁津迄夜中徒歩にて漢江の鐵橋を暗中四足にて一ッ跳れば漢江のモクヅとならんと迄決心して押掛け行き寢具を買ひ與へしのみか昨年秋より筑前琵琶を習ふ事になりしより直ちに四十餘圓を出金して琵琶を購求之を井上に與へ去る十二日の如きは井上が休暇にて例の稽古に來京するより南大門外某教師の宅に敷布二枚天鵞絨襟外二三點の品を持ち行き先生濟みません私の井上さんが來られしならば此の品を渡して下さいと惚け話し旁々賴みたる由なるが斯くの如き金があらば親元に送付せよと注告する人あるも親より戀人が大切ですと答へ目下二百四十餘圓の前借とは當分同樓は六ケ敷かる可しと

●藝妓とブリキ職

昨年京城中の新地日の出亭に廣島縣佐伯郡井白村字河瀨塲一八〇番地平民三村ハヤノ（二三）と云ふ藝者がありた處が此別嬪にぞつこん惚れ込んで足繁く通つた男がある原籍は熊本市安巳橋通町四三番地當時京城永樂町二丁目麻作太郎方屋入鉞力職建部政喜（三七）と云ふ者で二人は夫婦約束までと深く言ひ替したが待て暫し此店には恩も義理もある今逃亡しては人情に背く一層住替してからの分別と合議の上同年十二月十四日京城米倉町河日某の周旋にて青坡町鴨戶樓事矢吹ヨシと云ふ料理店に前借金三百圓を以て住替を了したが翌十五日の午後八時頃色男の建部は知人某を伴ふて登樓した揚句一寸風呂屋まで女を引連れたまゝ逸事を知人に托し二人は其儘手に手を執つて烏致房に高飛びして青山料理店に潛伏した矢吹方にては一大事と直樣龍山警察署に御願ひ申した警察は嚴探の上終に二人共其隱れ家より引戾され男は署內に留置せられて取調の結果雇主減方の金員費消の廉もありさやらにて昨日檢事局に送らる

●賭博五組

南部署に於ては十六日夜賭博の大檢擧を爲したるが擧げられたる者は南山町三丁目印刷職人岸田茂（二七）旭町二丁目須田久吉（三一）山口縣人當時旭町二丁目鈴石伊三郎（三一）旭町二丁目山根中太郎（三）南山町二丁目吉村ユキ（三七）旭町三丁目脇元ナツ（三二）の六人一組▲若草町一丁目村山源兵衛永樂町一丁目野口竹一（三）若草町一丁目中嶋常八（三〇）花園町三番戶田村肇之輔（四〇）當時若草町一丁目和田富吉（三〇）の四名一組▲壽町一丁目谷口新太郎（三五）若草町一丁目細川米藏（三）旭町一丁目山口番次郎（四〇）の三人一組▲東京府人笹山庄太郎若草町一丁目佐原つな（三三）若草町一丁目牛島つか（三）若草町一丁目幸勇三郎（三九）の四名一組▲壽町一丁目廣濱鹿雄壽町一丁目矢野鹿藏（四五）若草町一丁目金光福太郎（三九）の三名一組何れも南部署に於て取調中なり

●賊魁宋秉臺逮捕

楊州憲兵隊より組織出動せる賊徒搜索隊は十六日夜賊魁宋秉台を逮捕したる赴きにて右電知十七日朝其筋に到達せり聞く所によれば宋秉台と云ふは賊魁名簿にも上り居れる一方の旗頭にして多年賊徒を働き最初は其勢力微々たりしが近頃其部下も多く尤も政治的の意味合はなけれど其產地の揚州を根城として附近を橫行掠奪し常に良民を苦しめ居りたるものなりしと何れは兎も鐵首にて際し居る賊魁の逮捕されたるは地方安寧上慶ぶべき事と云ふべし

紘吟會例會開催

來る廿二日（第三日曜日）新年宴會を兼ね第二回紘吟會開催可仕候條本紙愛讀者及び投書家諸君萬障御繰合せ奮つて御贊同御參會被成下度候

課題 元結 雪 猫 （情歌）
日時 廿二日正午より
場所 南山町一丁目初音
會費 貳圓（當日御持參の事）
（追而御出席の御方は前日正午迄本社へ御通知を乞ふ）

正月 幹事

●實包及び銃器隱匿

南部樂善坊金洞七十二統四戶秋光犨（五七）は前陸軍一等軍司を勤め居りしが去る明治四十年解散後は地方の郡守等も奉職せし人物なるも舉動不審にて其筋の注意人物となりしが此の頃三十年式實包百七十有餘發及銃器を隱匿し居る事京城第一憲兵分隊中上藤村兩特務探知し分隊に引致目下取調中なりと

●木取濟人 仁川府多所面飛浪里七統七戶居住金德三は自分所有の山林を盜伐されたる旨訴により其筋より出張犯人を搜索の結果取押へ取調たるに此の者は貴書房と云ふ支那人なる事判明し引致せんとしたるに仲裁者の爲めに木代を仕拂事にして示談

●橫領犯人 佐賀縣小城郡北山村栗並二十番戶當時住所不定西乙一（二〇）が釜山草梁牛乳搾取販賣業藤井好太郎方に店員として雇れ中賣掛金百餘圓を横脫した一事件は十六日京城地方裁判所に於て懲役八ケ月に處せらる

●船夫窒息 仁川月尾島前に繫留しある松坂町岡本石橋所有の團平船住吉丸の船夫某は十六日夜日船内にて盛に火を焚き寐に就きたるが本朝に至り窒息して死し居るを他船の者が見付け訴へ出たるより其筋より出張取調中

●材木漂着 仁川花町二丁目中村富士松は十六日午後四時頃同町裏手海岸に於て材木尺角にて長一間半位のもの漂着し居るを發見し屆出該品は同人保管しある由心當りの者はなきや

●女の肩掛 十六日午後十時頃仁川萬石町一丁目材木會社前に女の肩掛を遺失しあるを折柄通行の龍岡町二丁目池永戶佐吉が拾得屆出

●壹圓紛失 京町二丁目伊藤富藏は十六日午後一十時頃花町三丁目の浪花湯にて入浴し敷島へ行く途中にて壹圓と外紙幣在中の財布を遺失す

●壽座 十八日替狂言は前日に引續き有馬紋怪猫奇師大道具大仕掛の由

●五雲會例會 二十二日正午より京城大和町三丁目梅の家に於て第四十八回例會を開催す番組は如左 高砂、木賊、唐衣（役割當日抽籤のこと）舞囃子「忠則」松田氏「百万」橋寺氏

●中の新地噂集 常盤樓の政子君なんば馬の樣な「デッテル」がよいかとて「ヨボ」の綿打屋ではあるまいし毎晩「ウン〳〵ウン」として居ると今に胎願が四番になるぞすこしは御正月中なりと戎顏をして見せよ（牛顏男）▲お多福樓の「奴」君てないだ南山町三丁目の〇〇神社へ前の晩から二人で朝迄の御信心とは猪年になりて聞くが始めてすこし世が世なれば御參詣を早くなされ身の爲めになりませぬぞ（稻荷樓）▲井筒屋の式部君は此頃から猪年の風ケ引込みて三等賞の樣に入が見るから一日も早く梅毒病院へでも行て治療藥を飮なさいいくら時世の式部でもすこしは人に愛相をしよ君はなんぼ仲居のお梅が後見しているかとて稻荷樣かしつて居るぞすこしは御客を大切にせよ今に稻荷樣の罰があるぞきをつけろ（鎧箱生）▲お多福の仲居のお藤さん君は近頃お安東縣へ行くそうなが小供がみな熱き涙をこぼすぞすこし辛棒してやつてくれ君が安東縣へ行くなれば跡は火がきゐるかけで君ははめ者ぞ樓主有て小供有り小供有てお藤有りとか之れ藤でなくては猪年が明かぬとさ（親切女）

絶妙藥品 木下大盛堂藥舖

●一月十八日 舊十二月十八日 ●七赤 戊子 大安 閉 △一白 稱計轉業模樣方針辯凶其他進んで吉 △二黑 外誘惑靭 ●保證裏書を斥くべし親戚近親の事厄累わり △三碧 共同組合宴婚談に忌む ●交際業務上間違ひ破綻多き日なり新事旅行見合せの事 △四綠 婚姻衞生に留意すべし總ヒて厄逆日なり諸事謹愼の事賣買勝負事見込違多し △五黃 貸借命取賭事を禁ず他は進んで吉子孫の事を擧げ屆入れ婚姻に尤も好し △六白 業務上達錯ある日なり改易移動新判轉住模樣替進んで利あり △七赤 婚談旅行見合せの事賣買課職協定約契約破綻に歸し易し △八白 貸借賣買不動產上の事効あらず其他進んで吉人の爲め世話厄介事あり △九紫 不自由の日なり起工起業設計婚姻貸借相談委囑効なし（本町五丁目三一館判斷）

帳場至急入用 希望者は面談あれ 姓名 任 社

廣告

第二號 公告
一金五百圓也
右ハ子爵寺內正毅殿ヨリ當民團小學校幼稚園及高等女學校ノ基本金トシテ寄附相成候條此段公告ス
明治四十四年一月十七日
京城居留民團民長 古城菅堂

本町五丁目 木下大盛堂 電話三九六番

今般小生儀朝鮮孤兒院長の勸めにより京城日鮮音樂團を組織致し候に付大勉強を以て各位の御用相勤め可申候間何卒御引立の程偏に奉希上候
京城本町七丁目（深堀製綿所内）
京城日鮮音樂團
主任 深堀久雄
取次電話一八三五番

飮みすぎ食ひすぎには
ビットル散
本舖 大阪市江戶堀 猪飼史郎
各地藥店ニアリ
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
電話九〇四番◎一〇六八番
振替口座京城十八番

◎遠きは郵信近きは即時!!

曩に會員五百六十餘名の贊助を得豫想外の稱贊を博せる本會は客年十一月を以て會員所定の提供を了へたるを以て好評嘖々再度開催方を促されしも時歲稍に屬し百事匆忙延ひて今日に至れり茲に年頭其筋の認可を得流行を逐ふて提供種目を一新し再第二回會員を募集せんとす若夫方法の輕便なること品質價格の正廉こは汎湖既に定評あれば更に喋々するを要せざるべし
幸に本會を利用して調度の便を得んこと欲せらるゝの士女は規定書に據り陸續御入會あらんことを

明治四十四年一月

月賦提供 京城時計與振會

◎此機を逸せず加入せられよ!!

一、本會は最も簡易なる月賦法を以て時計其他を會員に提供するを以て目的とす
二、募集期間は本年一月に始まり二月十五日を以て〆切とす
三、第一回抽籤は二月十九日（第三日曜日）午後一時を以て京城明治町淨土宗開敎院に開催すべし
四、提供品の種類は金銀時計各種發音器自轉車寫眞機金鎖純金指環金緣眼鏡等とし一に會員の指定に任す
五、會員の定數は五百名とし募集區域は朝鮮一圓とす
六、期限中と雖も滿員の節は御申込を謝絶す
七、提供品は各取扱店頭に陳列し大方の貴覽に供すると共に會名を記したる一定の赤紙を軒頭に樹つ
八、滿會の際には抽籤に依り一等三越呉服券（四十圓）を始め種々の大景品を贈呈す
但し一本も空籤なし
九、方法及内容等は詳細載せて規定書にあり左記取扱店へ申込まるれば即時進呈すべし（送料郵券二錢を要す）

取扱店（イロハ順）

京城本町六丁目 電話一〇五番 市川時計店
同 本町二丁目 電話四八〇番 織居自轉車部
同 鐘路通一丁目 加藤時計店
龍山 榮町 川添天光堂
京城永樂町三丁目 川合時計店
同 本町四丁目 中村時計店
水原城內 築田時計店
龍山 榮町 福富時計店
京城本町一丁目 電話壹〇七番 小林時計店
同 明治町一丁目 寺島時計店
同 鐘路通一丁目 電話九八七番 赤帽子時計店
同 本町三丁目 電話一一八番 金化堂時計
同 本町二丁目 電話一〇五二番 三浦天龍堂
龍山 元町二丁目 電話五六二番 壚谷天眞堂
京城本町一丁目 平井動賨堂

取次店

京城本町四丁目 電話二六二番 織居商會
平壤南門通 電話三三番 同支店
仁川本町三丁目 電話七〇五番 喜多金光堂本店
京城本町二丁目 電話一〇一五番 同支店
同 本町二丁目 電話一一三一番 赤帽子商會

●諸公債諸株券現物賣買

迅速確實に御取扱可申候 兼業 諸官衙御用達 證券擔保貸付

京城本町三丁目

大坂野村德七代理店

田中友吉商店

電話九三九 振替（夕）

池坊生花教授

今般諸君の御便利の爲め左記の所へ出張所を設置候に付御希望の方は御申込被下度候

南山町四丁目 一光齋秀庵

龍山驛構内 今井宅

京城新町 難波宅

弦齋流割烹 す津祢

南山町一丁目 電話千五百二番

◉貸金 旭町二ノ一五別府組車帳場筋向小路 高橋

有給者にて極秘密に低利融通可申候

移轉廣告

一弊店等日鮮合邦と京城府發展に伴ひ從來の場所にては不便利に付左記へ假新築移轉仕候間倍舊の御引立の程奉願上候且弊店等の店前には日本人朝鮮人支那人等共に多數開店し卸小賣に係らず勉強營業致させ居候に付食料品は全部立所に取揃候間至極便利に有之候共に御引立願上候

京城南大門内南米倉町

丁 池尻林太郎商店 電話三五一番 振替口座八六番

刀 辻本嘉三郎商店 電話六四一番 本宅旭町二丁目 振替口座京城三八番 電話一四七八番

仲買人一同

廣告

内地時價騰貴の爲め本月二十日より清酒一挺に付金一圓値上仕候間此段廣告す

明治四十四年一月

仁川酒商組合

京城酒商組合

酒精アルコール

直輸入元 仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）

坂倉支店

M.C.C.

土耳古 紙巻 實

エムシーシー

專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣

京城、平壤龜屋！！！釜山、木浦、群山高瀨支店

牡丹麥酒株式會社

株式募集廣告

一募集株五千株

總株四万株の内三萬五千株は確定引受

但し申込株數が募集株數を超過したる場合は創立委員に於て之を按分す

一申込證據金 一株に付き金二圓五十錢

一申込期限 一月十四日より同二十日まで

一資本金 總額二百萬圓、總株數四萬株、一株の金額五十圓 第一回拂込金十二圓五十錢（但し證據金を併算す）

一營業の目的 麥酒釀造販賣及之に附隨する業務

但し本社は釀造場を福岡縣門司附近に設くるものにして地の利販貿の便等優越なる特長を有す

發起人

東京 廣澤金次郎 東京 閣田實德 東京 矢吹重耀 東京 山下敬太郎 大阪 三武久 大阪 高橋安次郎 大阪 中村秀五郎 大阪 中野壽吉 大阪 梅原龜七

大阪 中村準策 大阪 阿部三朝 大阪 濱中八三郎 大阪 大崎幸四郎 神戸 藤井忠兵衞 兵庫縣 南總一郎 兵庫縣 家入寅安 下ノ關 松尾吉三 下ノ關 内田三郎

下ノ關 關谷祐造 下ノ關 關谷太郎 下ノ關 森治郎 門司 山田彌八郎 門司 岸田耕三郎 門司 中村爲弘 門司 中石剛光 小倉 平田豐廣 佐世保 森永泰兵衛

山口縣 藤本治助 釜山 大池忠助 釜山 迫間房太郎 釜山 五島甚吉 釜山 阪田文吉 釜山 永松敦一 釜山 國松磊奇智

贊成者 大家七平、高倉藤平、宮崎敬介、辰馬半右衞門外數十名

牡丹麥酒株式會社創立委員長 伯爵 廣澤金次郎

取扱銀行

●北濱銀行大阪本店 同東京支店 同名古屋支店 同京都支店 同神戸支店 ●百三十銀行大阪本店 同小倉支店 同若松支店 同傳々支店 同京城支店 同仁川支店 ●日本商業銀行 同兵庫本店 同門司支店 同長崎支店 同釜山支店 ●第三銀行 ●肥後銀行 ●十八銀行 同釜山支店 ●福岡十七銀行 ●周防銀行 同廣島支店 ●佐世保銀行 ●第一銀行 ●馬關銀行

創立事務所 大阪市北區堂島中町一丁目二十九番地（電話東一、一七四番）

出張所 門司市東本町一丁目三〇二番地（電話三三七番）

●申込用紙並に定款は取扱銀行及創立事務所に備付有之候

新梅毒注射藥

エールリヒ 秦 氏

右新劑サルバルサン到着本日より隨時注射治療致候（入院隨意）

一月十一日

京城南山町二丁目

松岡醫院

電話六七五番

東京建物株式會社京城派出所

本店 東京日本橋區吳服町

支店派出所 横濱 天津 釜山 京城

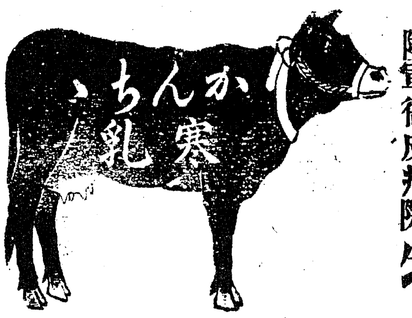
資本金五百萬圓

營業科目 土地建物抵當貸附 月賦償却建物建築 土地建物賣買紹介

京城旭町二丁目百十五番戸

電話番號一六八一番

大韓醫院 陸軍衞戍病院 特定御用



一年間の滋養供給は寒中に在り滋養の効果は寒中に最も大なり寒中滋養を欠けば病に罹れ易し世は命あつての物種 牛乳なる哉而も寒乳なる哉

荒井牧場

京城電話千五十六番 龍山電話廿二地番

諸官衙御用

營業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐アレン 穀物食鹽 [illegible]

特約販賣

東京タンバーノ商會代理店 東京中外アスファルト[illegible]代理店 東京千代田[illegible]代理店 東京博文館發行書籍特約店 東京金港堂發行書籍特約店 [illegible]

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目（電話三〇番） 出張所 東京新橋南鍋町一丁目（電話新橋三六九二番）

電話開通一千五十番

東大門 池田出張所

朝鮮人向物品委託賣買

田舍行駄馬運搬所

南大門外池田商會本店は今回從前の場所より牛丁西へ移轉し業務擴張仕り候間倍舊御引立相願候

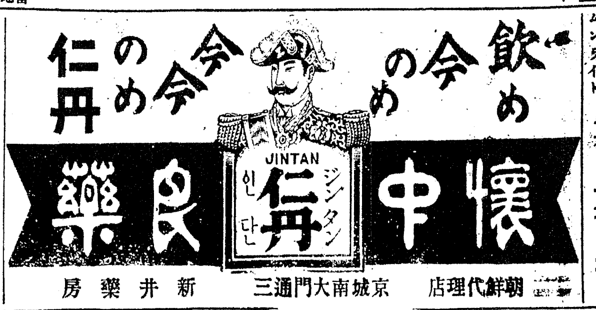
京城御成町

食料品雜貨商 池田商會

電話七五九番 振替口座朝鮮二四七番

ラムネ サイダー シトロン ライスト

製菓部



朝鮮代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

土地建物鑛山株券賣買

貸家管理の囑托を受く

一百町餘の果樹園適地買入たし

田、畓、山、金銀、黑鉛鑛買たし

京城明治町三丁目

小林藤商店

商品其他擔保に貸金す

市外田畓山林未墾地鑛山賣物あり

市内家宅賣物數多あり

電話六五五番

廣告

一佛國レロイ社製壁紙各種

一英國ランカスター無地リノリユーム

一ボンメル蝶番各種

右多數貯藏致居候間御注文願上候

明治四十四年一月

京城エルロンドン商會

吉岡信太郎

電話九九五番

清正釀 政宗造 正則元

上酒

小賣壹升に付三十錢 卸賣は特別割引可仕候

清酒 味淋 燒酎 醸造元 並に日用食料品雜貨類

京城壽町三丁目

中井酒造場販賣部

電話百七十七番

電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

義齒術全般

京城旭町一丁目

齋藤英壽

電話一四一四番

紙と印刷

諸官衙御用

紙 和洋帳簿 印刷 各種製本

播本商店

京城本町六丁目 電話百拾番

和洋古物各種

新案 九たびもた

堅牢で廉價な山本織

京城本町一丁目 九一 栗原商店 電話四八三番

九一出張店 京城本町五丁目入口

諸官衙御用品 無煙安心火止石油販賣

石油各種鑛油各種 卸部

炭、薪、酒、醬油 日用食料品一式 小賣部

京城南山町一丁目百十四番戸

奈良屋商會

電話六八八番

純良消毒牛乳

京城東四軒町

岡野牧場

電話千六十九番

恩給年金 者へ便利長期 立替

諸公債 現物 擔保賣買

確實取引月一步五厘

京城中部壽進坊相思洞廿九統七戸下宿業博多屋方

上州屋支店

電話九百五番

キ

出帆廣告 一月中

海州行 安來丸 十九日、廿三日、廿七日、卅一日

天草丸 廿一日、廿五日、廿九日

屯串行 三省丸 十八日、廿二日、廿六日、卅日

成歡丸 廿日、廿四日、廿八日

千葉丸 廿六日

蔚島行 千葉丸 廿一日、二月一日

成歡丸 三省丸 廿六日

九味浦行 海利丸 廿一日、廿九日

仁川本町四丁目

秋田商會船舶部